

## 首里城火災1週間 地元、気持ち新たに

那覇市の首里城で正殿などが焼失した火災から7日で1週間。現場では警察や消防の実況見分が続く。首里城公園管理センターは5日から首里城入り口付近の敷地を一般開放し、観光客らが訪れている。再建を支援する寄付の動きも全国に広がっており、地元の住民や関係者は「落ち込

んでばかりではいられない」と気持ちを新たにしている。7日朝、首里城近くの交差点で小学生の通学を見守っていた民生委員の国頭玲子さん(67)は「全国の皆さんとの協力は本当にありがたい。喪失感は大きい



観光客らでにぎわう首里城公園入り口の守礼門  
＝7日午前、那覇市

が、次の世代のために再建してほしい」と首里城を見上げた。公園の休憩施設「首里杜館」で総合案内を担当している女性スタッフは「観光客の方から『頑張って』と励まされる。本当に勇気づけられる」と感謝していた。

守礼門をくぐった先にある歓会門の付近で、焼け落ちた北殿の屋根を見つめていた岡山市の会社員岡崎裕治さん(50)は「鮮やかな朱色の屋根瓦が黒く焦げていて悲しい。協力できることは何でもやりたい」と話した。

2019年  
11月7日夕刊

① 記事で紹介されている「火災で消失した沖縄県那覇市の建造物」を漢字3字で書きなさい。

--	--	--

② 記事中の□に入る見出しを考え、12字以内で書きなさい(句読点は付けない)。ただし、沖縄の人々の気持ちをふまえて書くこと。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

③ 貴重な文化遺産が焼失したことに対して、あなたはどのように考えるか。記事を参考にあなたの考えを20字以上30字以内で書きなさい(句読点を含む)。


←20字

←30字

年 組 名前